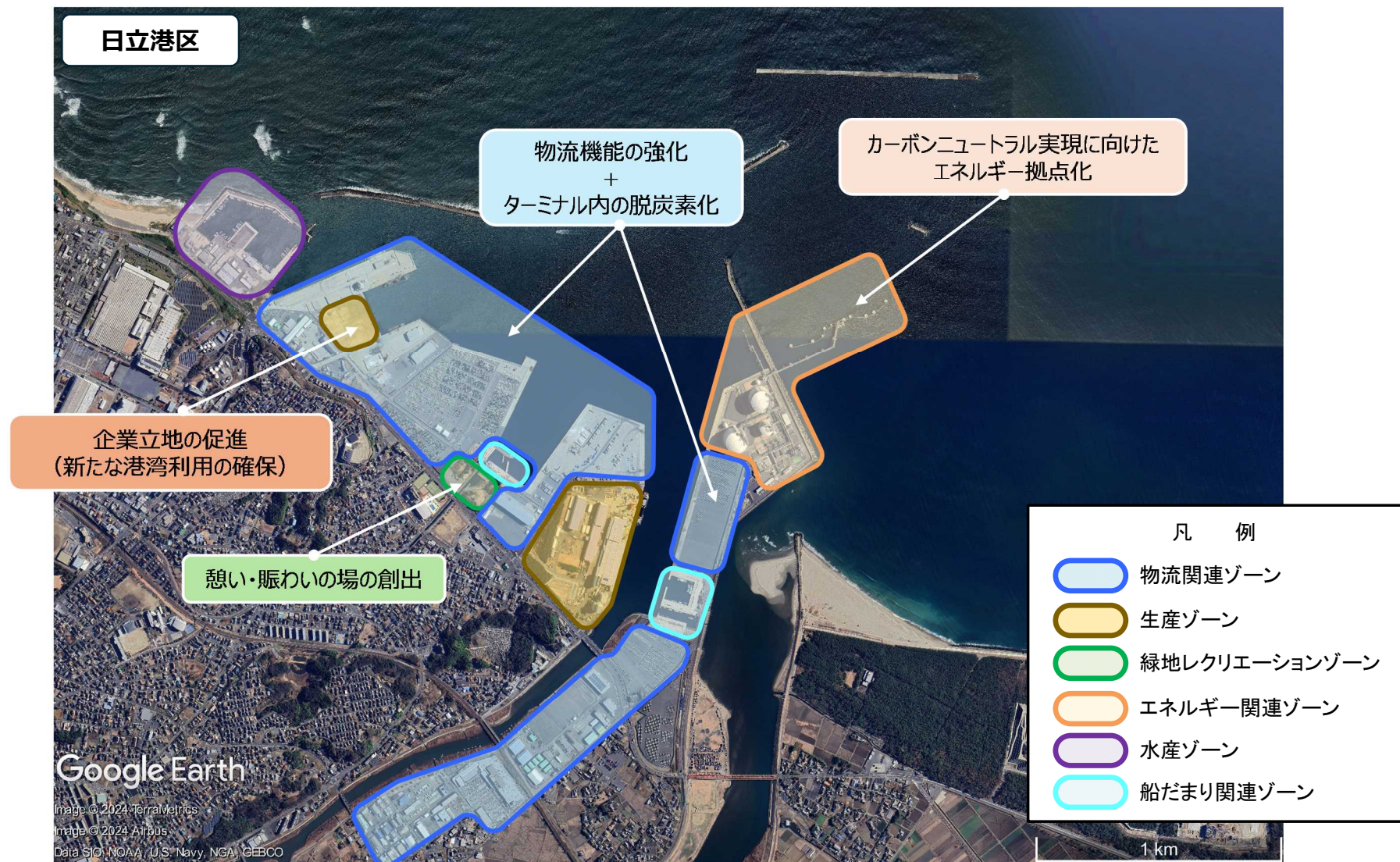


7. 空間利用ゾーニング

これまでの取組内容等を踏まえ、以下のとおりゾーニング図を記載する。



常陸那珂港区

物流機能の強化
+
ターミナル内の脱炭素化

新たな物流機能の強化

新たな交流拠点ゾーンの創出
(大型クルーズ船の受入)

(外貿貨物ゾーン)

(内貿貨物ゾーン)

凡 例

- 物流関連ゾーン
- 生産ゾーン
- 緑地レクリエーションゾーン
- 交流拠点ゾーン
- 自然環境・交流ゾーン
- エネルギー関連ゾーン
- 船だまり関連ゾーン
- 都市機能ゾーン

憩い・賑わいの場の創出

企業立地の促進
(新たな港湾利用の確保)

Google Earth

Image © 2024 Airbus

注: 赤点線は現計画

300

Image © 2024 Airbus

1 km

大洗港区

物流機能の強化
+
ターミナル内の脱炭素化

快適な親水空間の創出

賑わいの場の創出
(クルーズ船の受入)

- 凡 例
- 物流関連ゾーン及び
人流関連ゾーン
 - 緑地レクリエーションゾーン
 - 交流拠点ゾーン
 - 水産ゾーン
 - 環境保全ゾーン

Google Earth

Image © 2024 TerraMetrics
Image © 2024 Airbus
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

1 km

8. ロードマップ

主な取組内容における目標時期を以下のとおり想定している。

機能	取組方針	主な取組内容	対応地区			目標時期	
			日立	常陸 那珂	大洗	短・中期 (～2030年代後半)	長期 (～2050年代前半)
物流・産業	首都圏のゲートウェイとして物流や産業の発展を支える海上輸送拠点の形成	①定期コンテナ航路等の拡充		○			
		②新たな施設整備促進及び産業用地の確保	○	○	○		
		③モーダルシフトの進展に対応した次世代高規格ユニットターミナルの形成	○	○	○		
		④情報通信技術を活用した港湾のスマート化	○	○	○		
		⑤ヒトを支援するA Iターミナルの形成		○			
		⑥背後地との道路ネットワークの強化	○	○			
環境・エネルギー	背後地域の脱炭素を支援するカーボンニュートラルポートの形成	①次世代エネルギーの供給(輸送・貯蔵等)拠点化	○	○		規模及び配置検討 	
		②物流・人流ターミナル、港湾地域に立地する企業活動の脱炭素化	○	○	○		
		③脱炭素化推進地区制度の活用等を見据えた土地利用	○	○	○	規模及び配置検討 	
		④港湾脱炭素化促進事業の推進	○	○	○		
		⑤港湾の脱炭素化に関する将来構想	○	○	○	実現に向けた検討 	

機能	取組方針	主な取組内容	対応地区			目標時期	
			日立	常陸那珂	大洗	短・中期 (～2030年代後半)	長期 (～2050年代前半)
人流・賑わい	背後地域の観光振興を支える交流・賑わい拠点の形成	①クルーズ船の受入環境整備		○	○		
		②背後観光スポットとの連携によるクルーズ船誘致		○	○		
		③みなとを中心とした交流拠点の創出	○	○	○	事業検討	
安全・安心	災害対応力の向上による安全かつ安定した港の形成	①戦略的なインフラマネジメントの推進	○	○	○		
		②気候変動等を考慮した臨海部の強靱化	○	○	○	対応検討	
		③長周期波及びうねり対策	○				
		④東京湾被災時の茨城港の貢献	○	○	○		

9. 長期構想の実現に向けて

- 本長期構想における「物流・産業」、「環境・エネルギー」、「人流・賑わい」、「安全・安心」の観点で定めた4つの将来像実現に向けた取組内容は、複雑化かつ多様化・高度化しており、港湾分野だけでは実施できない事項や、十分に効果が発揮されない事項も多い。
- そのため、取組内容の展開に際しては、県の関係部局、地元自治体及び国等の関係行政機関や有識者、民間事業者等と連携し多角的な視点を持って取り組んでいく。
- また、今後の社会情勢の変化や、新たな課題に柔軟に対応し、茨城港の持続的な発展を図っていく。